

▶ 環境保全

当 社	2015年度目標	2015年度実施結果	2016年度目標
	<ul style="list-style-type: none"> 埋立処分量削減による、全ての事業場でゼロエミッション達成 (中期目標) 	<ul style="list-style-type: none"> 3工場でゼロエミッションを達成した。 廃棄物発生量は前年度より増加した。 埋立処分量は前年度より減少した。 	<ul style="list-style-type: none"> 埋立処分量削減による、全ての事業場でゼロエミッション達成 (中期目標)
構外グループ企業	2015年度目標	2015年度実施結果	2016年度目標
	<ul style="list-style-type: none"> 全ての構外グループ企業でゼロエミッション継続 	<ul style="list-style-type: none"> 全ての構外グループ企業でゼロエミッションを達成した。 廃棄物発生量は前年度より減少した。 埋立処分量は前年度とほぼ同じであった。 	<ul style="list-style-type: none"> 全ての構外グループ企業でゼロエミッション継続

廃棄物削減・リサイクル

当社は、一般社団法人 日本経済団体連合会の環境自主行動計画 (循環型社会形成編) に参加し、2015年度目標 (産業廃棄物の埋立処分量を2000年度実績比65%削減する) をすでに前倒しで達成しています。そのため、現状非悪化を原則に削減活動を進めています。

2015年度の産業廃棄物発生量は、前年度より約5,900トン増加しました。埋立処分量は再資源化を推進し、前年度より100トン減少しました。引き続き埋立処分量を増加させないよう努力していきます。なお、当社ホームページで「廃棄物処理施設の維持管理計画書・維持管理記録書」を公開しています。

<http://www.daicel.com/csr/treatment.html>

当社の産業廃棄物発生量とリサイクル率の推移



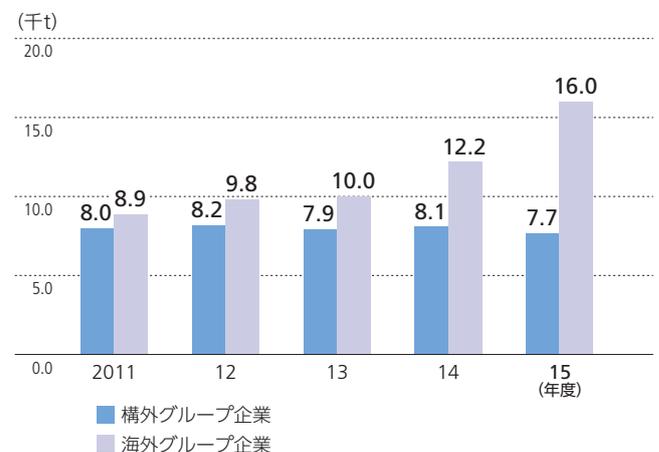
構外グループ企業では、産業廃棄物発生量が前年度より約400トン減少し、埋立処分量はほぼ同量でした。海外グループ企業では、産業廃棄物発生量は前年度より約3,800トン増加しましたが、埋立処分量はほぼ同量でした。

中期目標に「全ての事業場でゼロエミッション達成 (産業廃棄物の発生量に対する埋立処分量が1%未満)」をあげており、2015年度は当社6工場のうち網干工場、大竹工場、播磨工場の3工場でゼロエミッションを継続しました。

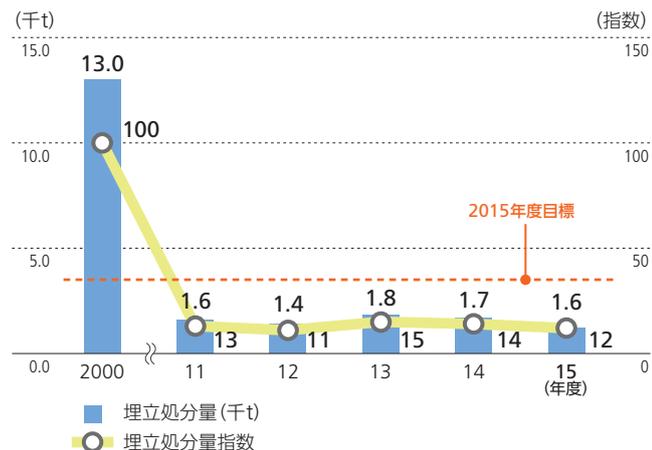
また、ポリプラスチック (株)、ダイセル物流 (株)、DMノバフォーム (株)、大日ケミカル (株)、ダイセルパックスシステムズ (株)、ダイセルパイロテクニクス (株) 全ての構外グループ企業でゼロエミッションを継続しました。

中期目標達成に向けて、今後も引き続き埋立処分量の削減に取り組んでいきます。

構外、海外グループ企業の産業廃棄物発生量の推移



当社の埋立処分量と指数の推移



構外、海外グループ企業の埋立処分量の推移

